

■水道施設の整備・改良と借入金

震災による被災施設の復旧は国庫補助事業として優先的に実施されていますが、「第4浄水場」やその他の事業は借入金が必要なため、将来的にはその返済(償還金)が経営の大きな負担となることが明らかです。

※借入金の残高と償還額については下表のとおり



配水管布設替えの様子

■水道事業の損益

料金収入を主な財源とする水道事業費用は、人件費や維持管理費、修繕費など日常的に必要な経費であり、10年前と比べると約7千万円増加しています。

施設整備に伴って発生する減価償却費も同じ傾向を示しており、「第4浄水場」や関連施設の完成とともに、増加することが見込まれます。

今後、料金収入が減少傾向となる一方で、減価償却費や施設整備費用は増加が見込まれるなど、経営は非常に厳しい見通しとなっています。

平成29年度は、約8千万円の純利益を計上(収入約6億9千万円、支出約6億1千万円)していますが、数年内には損失に転じることが予想されており、水道水の安全で確実な給水体制を持続させていくためには、安定した利益の確保が必要なことから、水道料金の改定について検討を進めています。

今後も、引き続き経営努力を進めて参りますが、水道事業の現状について市民の皆さんのご理解をお願いします。



水道管の凍結を防ぐ操作と対策

これからの季節は水道管の凍結にご注意を

毎年12月から3月にかけての冷え込みが厳しい期間は、水道管の凍結事故が多発しています。

凍結により水道管が破損すると、水が出なくなるだけでなく、修理代など思わぬ出費にもつながります。

次のようなときは、特に注意が必要です。
・旅行などで家を留守にして、しばらく水道を使用しないとき
・真冬日(最高気温が氷点下の日)が続いたとき
・天気予報で「低温注意報」が発表されたとき

※「屋外で露出している」「北向きで日陰にある」「風当たりが強いところにある」水道管は、常に凍結しやすい状態です。



水道管などの凍結防止対策

①「水抜き栓」の活用

「水抜き栓」は、水道管を凍結させないように水道管の水を抜くための装置です。

電動式とハンドル式がありますので、普段から水抜き栓の場所と動作の確認をしておきましょう。

▽電動式の操作方法

操作盤は、台所、洗面所、玄関などの壁面にあります。水抜きパネルの電源が「ON」になっていることを確認し、水抜きボタンを押します。

その後、全ての蛇口を開けて水が出なくなることを確認します。
再び使い始めるときは、全ての蛇口が閉じていることを確認してから通水ボタンを押します。

▽ハンドル式の操作方法

水抜き栓のハンドルを右に止まるまで回します(上下式は、引き上げます)。

その後、全ての蛇口を開けて水が出なくなることを確認します。屋外の蛇口も忘れずに水抜きを行ってください。

電熱線ヒーターで凍結防止をしている場合でも、水抜きを行えば確実に凍結を防止できます。

再び使い始めるときは、全ての蛇口が閉じていることを確認してから水抜き栓を左に止まるまで回してください(上下式は、押し下げます)。

【水抜き栓の操作上の注意】

水抜き栓を操作するときは、閉めるときも開けるときも、必ずハンドル(取っ手)が止まるまで回し切ってください。
半開きの状態では漏水する恐れがあります。

②水道管の保温

露出している水道管は、発泡スチロール製の保温材や布類を巻いて防寒し、その上から水にぬれないようにビニールテープを巻いてください。保温材はホームセンターなどで購入できます。

③メーターボックス内の保温

メーターを保護するために、発泡スチロールや布類をビニール袋に入れ、メーターボックス内に入れてください。そのとき、必ずメーターが見えるようにしてください。

水道管を凍結させてしまった場合

露出している水道管(保温材などは取り外します)や蛇口にタオルを巻きつけ、その上から「ぬるま湯」をゆっくりかけてください。
※熱湯を蛇口などに直接かけたり、直火をあてたりすると、破裂や火災の危険があります。

水道管を破裂させてしまった場合

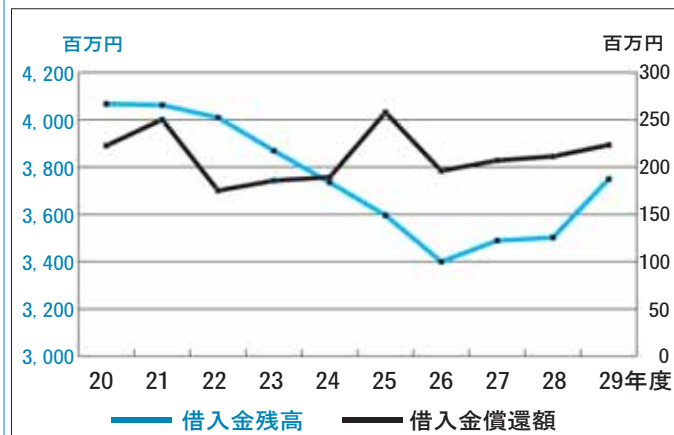


余熱を利用する利点もあるので、タオルは必ずかぶせてください。

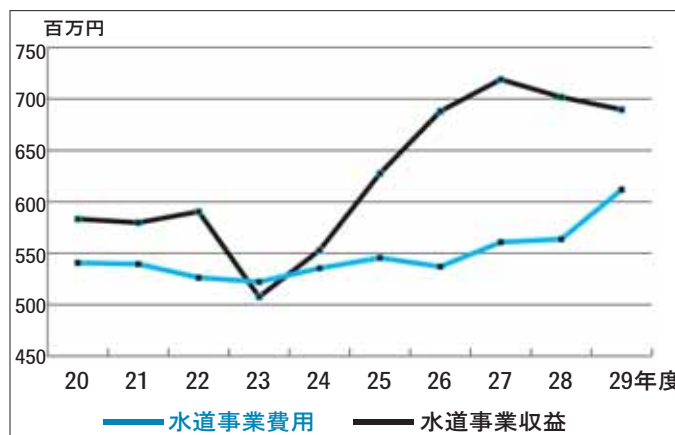
まず、水抜き栓を閉めてください。次に、応急処置として、破裂した部分にタオルやビニールテープなどをしっかりと巻き付け、市指定の給水装置工事業者または水道工事業者(連絡先など詳細は問い合わせください)に修理を依頼してください。
また、温水器や給湯器(ボイラー)などの修理は、購入した業者に直接依頼してください。

水道事業の収益と費用など

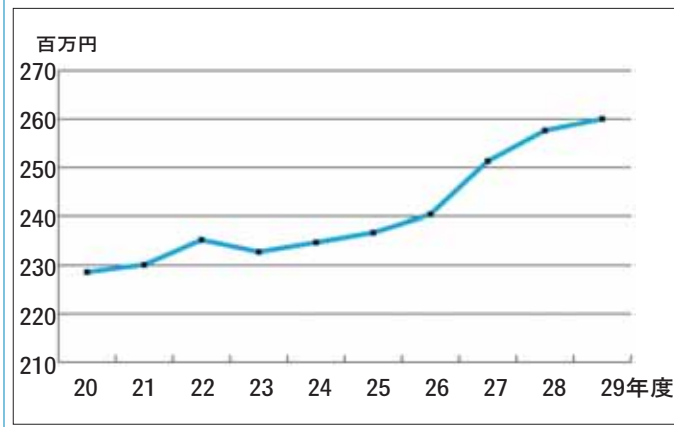
【借入金の残高と償還額】



【水道事業の収益と費用】



【減価償却費】



【純損益】

